




# CPS 最終課題

1922074 G8 木村太紀  
1/14提出



# 取り組みたいUX領域の2案

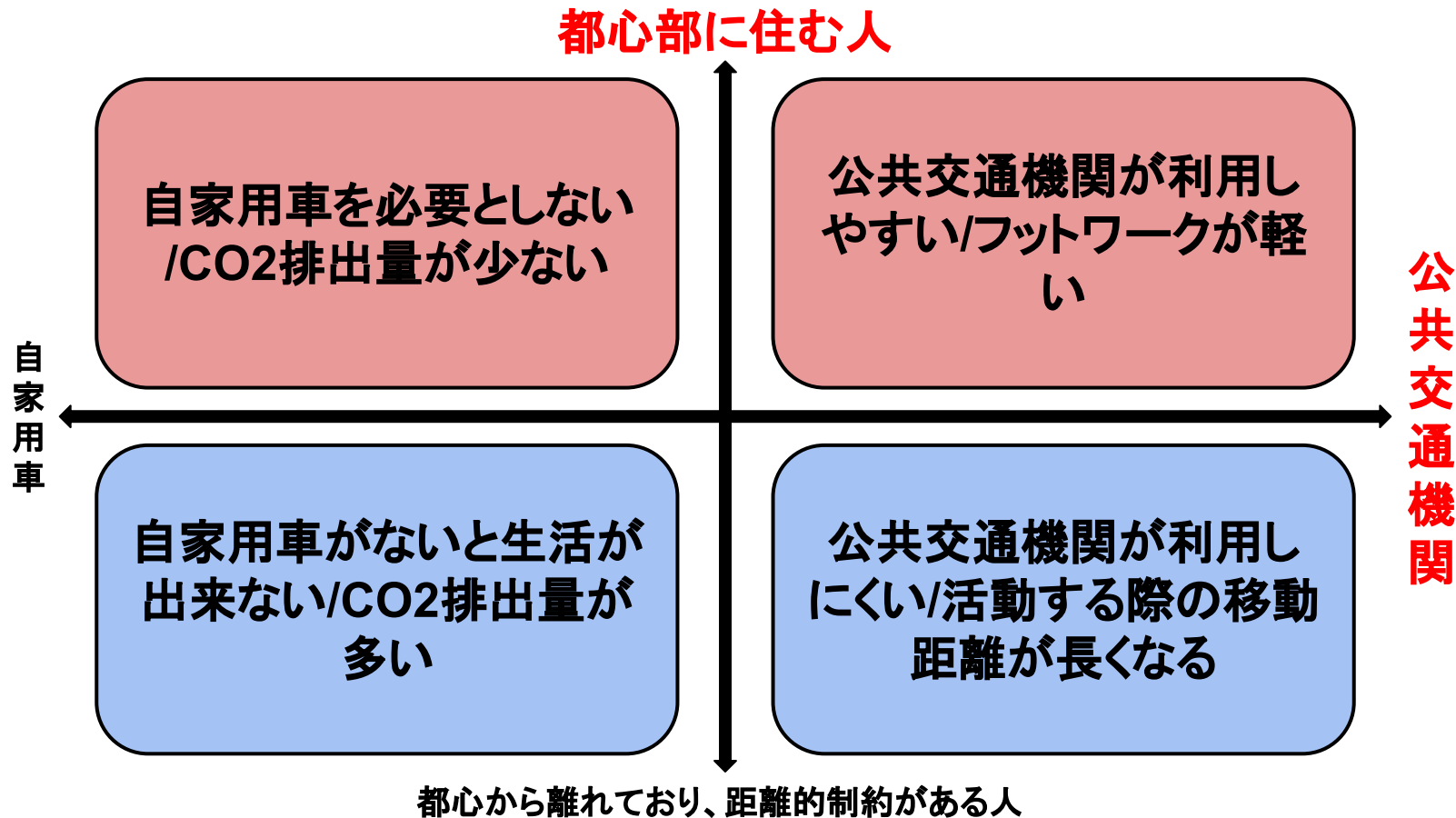
1.公共交通機関のルート検索を一括化



**最有力案**

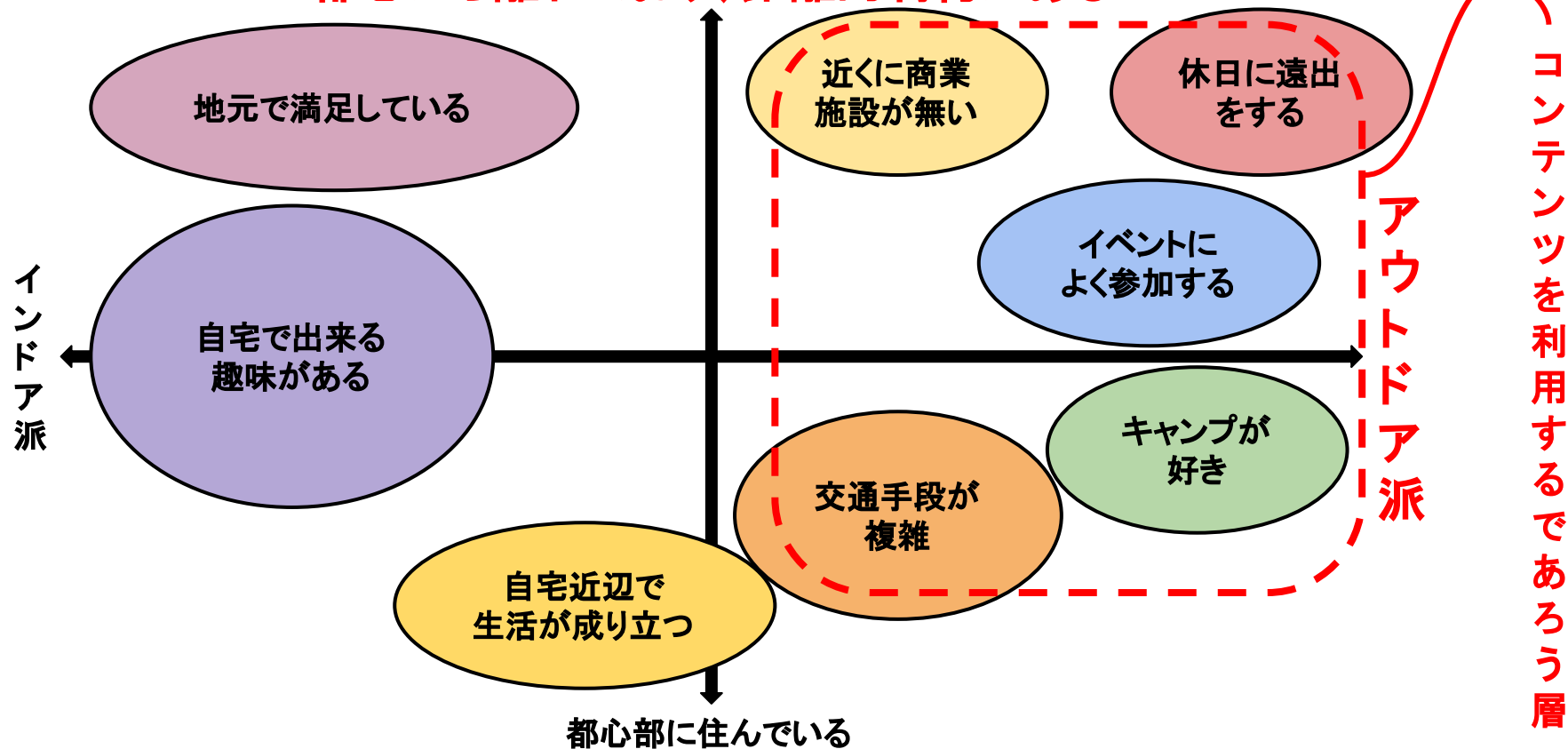
2.AIを用いた個人ツアー計画の生成

# 1.公共交通機関のルート検索を一括化(ペルソナ)

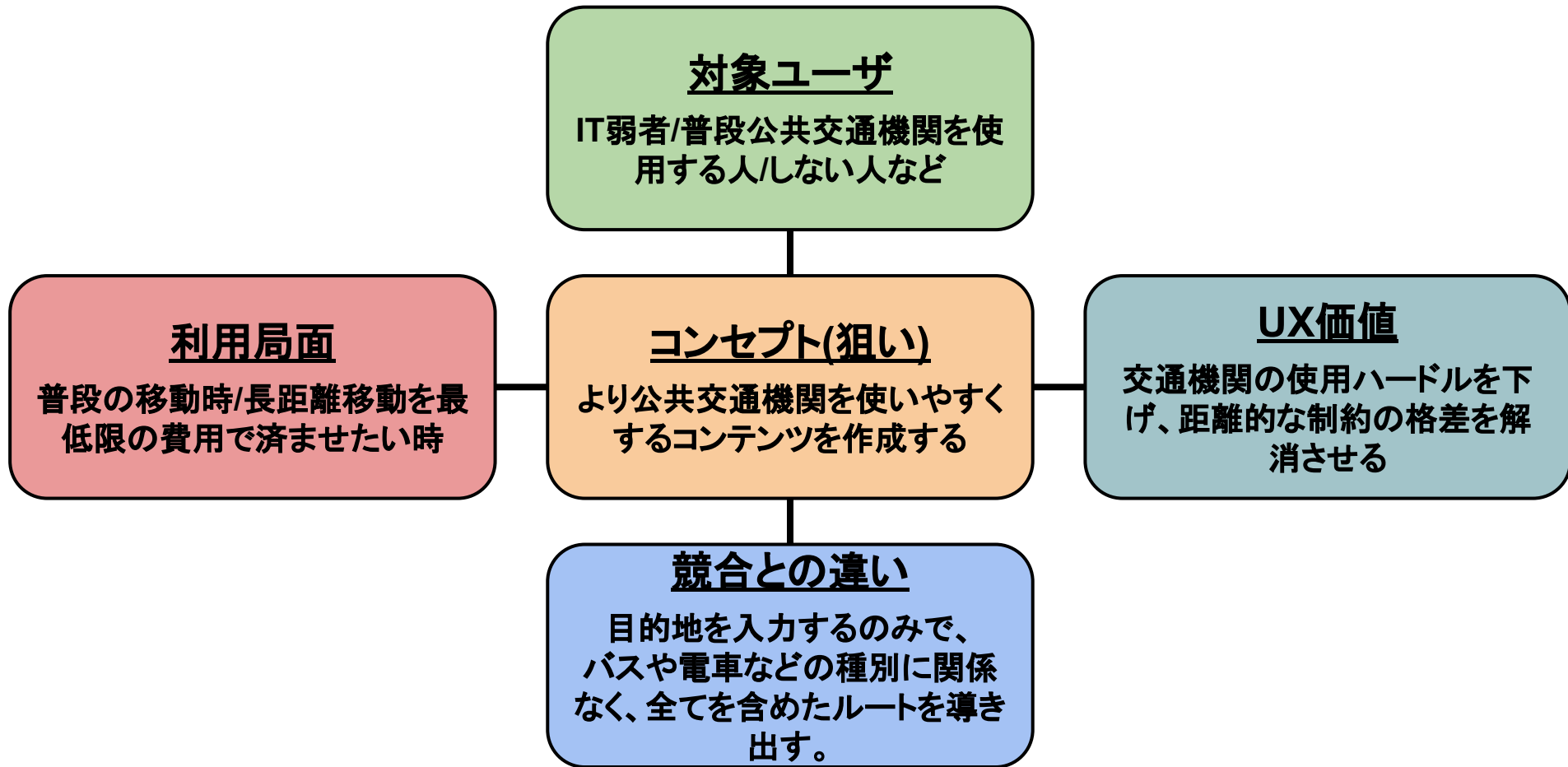


## 2.公共交通機関のルート検索を一括化(2軸チャート)

都心から離れており、距離的制約がある



### 3.公共交通機関のルート検索を一括化(コンセプトチャート)



## 4.公共交通機関のルート検索を一括化(選択した理由)

### ・理由

今現在、目的地までに利用する公共交通機関を検索する際は、利用する物ごとに異なる検索システムを用いなければならない。これは公共交通機関の利用における煩雑さや忌避感をもたらすと共に、ネット弱者に対する移動手段の格差を生み出している。

これに対して目的地までに利用すべき公共交通機関を一括で検索出来るシステムによって、煩雑さや格差を解消する事が可能であると共に、公共交通機関利用者の増加による排ガス減少も望む事が出来る。

### ・UXとCPSへの関わり

UXはそのサービスやコンテンツに触れた際の体験から来る感情や評価を示している。

よって前述したものを用いた移動手段の最適化によって、全ての人に存在した距離的な問題の解消という体験を提供する事が可能である。そしてこの体験によって生み出される評価はUXと繋がっていると言える。

# 5.カスタマージャーニーマップ

ペルソナ	公共交通機関をよく利用する人 (地方在住、自家用車を持たない、アウトドア派、休日は都心へ行く)			
フェーズ	目的地を検索	経路を決定	運賃を一括支払い	目的地へ経路を辿る
行動		<p>複数の経路の候補から、1つ選択する。</p>		
チャネル	Web or スマホ	Web or スマホ	Web or スマホ	Web or スマホ 交通機関
思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>どこかへ遊びに行きたい</li> <li>交通機関を調べたくない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経路検索が簡単</li> <li>経路の詳細が分かる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に支払い出来る</li> <li>出費がわかりやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽に外出できる</li> <li>シームレスに移動出来る</li> </ul>
感情				
問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>周知化を図れるか?</li> <li>提携するコンテンツは?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用する交通機関の選択方法は?</li> <li>歩行経路も提示するのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支払い手段はどうする?</li> <li>支払いルートを共通出来るのか?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅延などでの払い戻しは?</li> <li>乗り逃した場合の費用の変化は?</li> </ul>

## 6.概要、利用者、利用局面、プロトタイプ

### ・概要

目的地までに利用すべき公共交通機関やルートを一括して検索、支払いが出来るコンテンツ。モバイルSuicaなどと連携し、事前に柔軟な支払いが可能となる。

### ・利用者

- ・自家用車を持たず、公共交通機関をよく利用する人
- ・地方在住で都心へ通う事が多い人
- ・アウトドア志向の休日に外出が多い人
- ・距離的な制約で行動が制限されている人

### ・利用局面

- ・都心にて行われる大規模なイベントがある場合
- ・自家用車を利用する事が出来ず、尚且つ遠出をする場合の局面
- ・温暖化が進む世界において、排気ガス量を減らしたい場合
- ・初めて訪れる地域に行く際

### ・プロトタイプリンク